



# Team Dainan

八千代市立大和田南小学校  
《校長室だより》  
令和3年度 第22号  
令和3年 9月27日

## 1年生 生活科「花や葉っぱが大変身！」

～ 自然の材料を生かした遊びを楽しむ ～



1, 2年生で行う生活科は、これからの社会の変化に自ら対応できる心豊かな子供の育成を目指して誕生した教科です。生活科の誕生により、授業のスタイルも大きく変化をしました。これまでの「教師が教え、子供たちがそれを覚え、理解する」という授業から、「子供たちが自ら考え、判断し、行動する」という授業への転換です。

多くの子供たちは、生活科の学習が大好きです。今回1年生で行った

「花や葉っぱが大変身！」には、体験や活動をする中に、不思議や驚きの発見があり、そこから生まれる思いや願いを実現するために、子供たちは試行錯誤を繰り返します。また、遊びをもっと楽しくするために必要となる情報を自らもとめようとしています。子供たちが生活科を楽しんでいるのは、このようにじっくり取り組むことに楽しさと充実感を感じることができるからだと思います。

1年生は、5月からアサガオを育ててきました。また、畑や人が適度に管理した校庭の草地で季節の草花を観察してきました。毎年、1年生の生活科では、アサガオの花や草地に咲く花などを使って色水づくりを行ってきました。今回はそれを少し発展させ、アサガオの花を使った草木染めに取り組みました。

草木染めは、身近な自然の素材を染料として利用し、生活を豊かにしてきた先人の知恵として、現在に受け継がれている日本の伝統文化の一つでもあります。身近な草花を用いた染色は、合成染料による染織品が身の回りにあふれている現代において、子供たちが「自然の色や風合い」に目を向け、関心をもつ機会になりました。

本格的な草木染めでは、媒染剤を使うのですが、1年生という発達段階を考え、そのまま染めました。低コストでもよりよい作品となるよう、さらしや和紙のはがきなどを使いました。染め方も「色水染め」「たたき染め」「絞り染め」など複数行いました。子供たちの感想の一部を紹介いたします。

【大変身作戦で気づいたこと】

- たたき染をしました。たたいていたら、(花が)紙にくっついた。どんどんたたくと紙が切れるからやさしくやりました。紫の花を使って布やはがきを染めて、とてもきれいだと思います。

(かえで さん)

- 冷凍したアサガオでたたき染めをしたらどうなるかな？ 葉っぱとアサガオと一緒にたたき染めしたらどんなふうになるかな？ 葉っぱを5枚以上やるとどうなるかな？

(たいせい さん)

- 花を使っていろんなことができた。うすい紫でいろいろなことができて楽しかった。アサガオを使ってすり鉢でやったらジャムみたいになった。アサガオを使って、こんなふうになるとは思わなかった。(あかり さん)

